



夕方お散歩 ウォーキング ジャジャ山編

場所:山陰海岸国立公園内
ジャジャ山公園遊歩道
日時:平成25年5月18日(土)



開会挨拶

自然保護官とアクティブレジャーの自己紹介後、山陰海岸国立公園の解説と今回の観察会を行うにあたっての注意事項等を説明しました。



観察会開始

今回の観察会は植物を見て楽しむ、嗅いで楽しむがテーマでした。
見頃であったハコネウツギ(箱根空木)の花を觀賞し、サンショウ(山椒)の葉のさわやかな香りやスギ(杉)のヤニから漂うツンとした香りを楽しみました。



ジャジャ山には動物も多く生息しています。シカ、タヌキにイノシシなどのフィールドサインを至る所で観察できました。

左の写真はシカとイノシシの足跡の見分け方について解説しています。2つの蹄がどの程度開いているかが見分けるポイントになります。



ぬた場を発見

山頂を過ぎた辺りには「ぬた場」という、イノシシがダニ等の寄生虫の駆除を行うために泥浴びを行う場所もありました。乾いた泥にイノシシが毛を擦りつけた跡がはっきりと残っていました。

1時間の山登りを終え、スタート地点に戻り、観察会を終了しました。

山陰海岸国立公園は今年の7月15日で指定から50周年を迎えます。50周年を迎える山陰海岸国立公園の見所をご案内するガイドウォークを今後も行っていきます。皆さんもぜひ一度ご参加下さい。



参加された皆さんの感想



木や草花の名前や由来が分かりやすく覚えやすかったです。

地元の者ですが初めて歩きました。

いい汗かきました。初めての場所でした。

主催	近畿地方環境事務所
参加者	11名